

桑名市議会議長
渡 邊 清 司 様

第4班 班長
佐 藤 肇 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成27年4月24日（金）18時30分～19時55分		
開催場所	桑名市民会館3階大会議室		
出席議員	班 長	佐藤 肇	
	司 会	松田 正美	記録者 市野善隆、小川満美
	星野 公平	満仲 正次	
参加人数	22名		
議会報告の概要	<ul style="list-style-type: none">・司会者（松田正美）、班長（佐藤 肇）挨拶 (18:30～18:36)・自己紹介 (18:36～18:38)・平成26年12月・平成27年3月定例会の概要 (18:38～18:55) (説明：星野公平、満仲正次、市野善隆、小川満美)・議会報告に対する質疑 (18:55～19:20)・議会に対する市民の声 (19:20～19:40)・その他の意見交換 (19:40～19:55)		
主な意見・要望	別紙のとおり		
備 考	<ul style="list-style-type: none">・アンケート回収 22名・報告会参加者記名票 20名		

議会報告会記録

【第 4 班】

(1 / 5)

開催日時	平成27年 4月24日 (金) 18時30分 ~ 19時55分	
開催場所	桑名市民会館3階大会議室	
参加人数	22人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	・桑名駅西土地区画整理事業(資料P8)が進んでいない。何年先ぐらいに完成するのか。これだけの予算を使っているのならスピードアップを図っていただかないと税金の無駄である。	・現在の計画は、平成37年度までとなっている。平成25年度の建設水道委員会では事業評価の対象として、スピードアップを図るように強く提言・要望している。 目に見える形での事業推進が必要と認識している。
	・桑名駅西土地区画整理事業(資料P8)のエリアは、播磨から駅西までか。これほど整備が進んでいない駅前他にない。早期の整備が必要である。	・エリアは益生駅までである。 総事業費約280億円の事業であり、予算等の問題からなかなか進まない現状である。 委員会でも提言等をしており、推進を図っていきたい。
	・桑名市総合医療センターの整備はどうなっているのか。	・入札に参加した業者と金額に差があり、現在協議が進められている。6月定例会までには、執行部側から何らかの報告等があるものと考えている。
	・財政状況が厳しい。議員はどう考えているのか。	・歳出を抑えながら、ふるさと納税等で歳入を増やすといったような様々な取り組みが必要だと考えている。歳入、歳出それぞれの面から各市議は執行部と議論を交わしている ・経費の抑制のため、学校を含めた施設の統廃合、企業誘致等が必要と考える。
		・今年度は、新病院整備、土地開発公社が所有する土地の買戻し、駅西土地区画整理事業で予算規模が大きくなっている。これらを含めた是正が必要である。
		・執行部側も、自分の財布から支払うという意識を持って行

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答		財政改革に取り組んでいただきたいと思います。
		・歳入における企業誘致は、その税収分、国からの交付金が減らされてしまう。そのため、相当多くの企業を誘致しなければならない。そういったことも考えていく必要があると考える。
	・ふるさと納税が全国的に注目されている。還元率はどれくらいか。もっとアップを目指してはいかがか。	・還元率は約50%くらいである。 全国的に過熱気味であるという指摘もある。ご意見としてうけたまわる。
	・蛸塚益生線の進捗状況は。高架周辺の用地買収が進んでいないと聞こえてくる。予定はどうなっているのか。	・用地買収に関し協議が進められている。遅れてはいるが一時期に比べ進んでいると聞いている。早期の事業推進を図るようにしていきたい。
	・桑名駅東西自由通路に関し、事業推進状況は。	・平成27年度一般会計予算修正案で4千万円中、1千万円を減額し3千万円とした。この1千万円を財源として防犯灯設置補助金、学校図書館図書充実を図った。現在、鉄道事業者、国、県と協議が進められている。
	・語学指導員経費（資料P8）に関して、四日市市の取り組みが日本経済新聞に掲載されたと記憶している。こういった議会報告会も含めて、メディアを利用してもっと桑名を全国的にPRしていくべきではないか。	・中日新聞の三重版・北勢版には、よく桑名市に関連する記事が掲載されている。日本経済新聞には、記者クラブに加盟していないこともあり、記者発表の資料等をFAX送信していない。ご指摘の件は受け止め提言していきたい。
	・消防費（資料P10）の増加率が前年度比97.8%となっている。要因は。	・防災拠点施設として、土地開発公社から買い戻した星見ヶ丘の土地にかかる費用のほか、消防の無線デジタル化に関する経費のため増加している。
	・安永地区ほか、下水道整備がされていない。今後の見通しは。	・今までのやり方ではなかなか整備が進まないということで、議論が行われてきた。そういった中で、行政側の国への動きと、市議会での質問が同じタイミングで行われ、コストキャップ型の下水道の提案がされた。この27年度にできるかどうかの検討を進めているところである。この計画では、マン

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答		ホールを小型化するなどして工事費の削減に取り組み、今後
		10年間で下水道普及率が90%をめざし、推進されていく
		と考えている。

参加者からの 意見・要望等	◎議会に対する市民の声
	・ 市議会の会派構成は。
	議員提案が少ないのではないかと。会派のイデオロギーを出さず、ベテラン議員が率先して議会でまとまることも必要ではないか
	(回答) 3人までを交渉会派としている。構成は8人「1」、4人「2」、2人「2」、1人「6」の26名となっている。3年ほど前から議会の各委員会で事業評価、提言等を行っており、それにより推進された事業もある。
	議会運営については、若い方の意見を尊重するところは尊重し、ルールを遵守していただき論議を交わして決まったことは協力して市政運営をしていきたいと思っている。
	・ 市議の定数について26名は少なくないか。メリット・デメリットがある。どう考えているか。
	(回答) 議員定数に関しては、何度も議員間で議論し、「34名」「30名」「26名」としてきた。様々な意見があることは承知している。
	市議が地域の代表といえる面もないわけではないが、市全体の問題に取り組んでいく必要もある。今後、人口減の中で、地域の課題は地域委員会のような組織を作って、市に直接話をして、地域で解決していくのもひとつの方法としてあると考えている。
	増やすべきと考えることも必要であると考えている。
	・ 自治会数は689もある。議員の目が行き届くのかという思いもあって質問した。
	・ 市議の定数に関しては、少数精鋭として報酬も上げるという考え方はないか。
	(回答) ご意見として伺う。今後、議会改革検討会で皆さんの意見も伺いながら進めていきたい。
	◎その他の意見・要望等
	・ 揖斐川堤防沿いの住吉神社周辺の公園整備はいつまで続くのか。着工して数年経過している。周辺を観光資源として考えてもらいたい。
	(回答) 国の木曾三川公園事業の一環として整備されている。早期の完成を推進していきたい。
	・ 桑名駅北にある八丁畷踏切に関して、朝夕は、開かずの踏切状態であり、対策が必要ではないか。また、駅西の開発が終われば一方通行はなくなるのか。
	(回答) 踏切の拡張は、鉄道会社にメリットがなく、なかなか難しいのが現状である。会議の場には上げていただくようお願いをした。一方通行の件については、ここでは回答いたしかねる。
	・ 桑名市が若者にとって魅力のある住みやすいまちにしていきたい。
	(回答) 名古屋のベッドタウンとして、交通の利便性等を活かし、都市間競争を勝ち抜いていかなければならないと考え

参加者からの 意見・要望等	る。また、子育てや教育にも力を入れていきたい。病院も早く作って、若者にとって住みやすいまちにしていきたいと思 っている。
------------------	-----------------------------------------------------------------